質 問 ・ 回 答 書

平成30年 2月 7日

工 事 名　　松下菊水放流幹線築造工事

質 問 事 項	回　　答
・シールド機製作日数は工程を考えるうえでクリティカルパスになります。設計では製作日数を何日お考えでしょうかご教示願います。	製作期間を標準よりは短く設定しています。
・設計の工程で設定されている不稼働係数をご教示願います。	一般工事1.7　シールド関連1.5
・シールドマシンの製作日数を考慮せずに標準歩掛にて工程を考えても現在の工期内で工事を完了することが無理と思われます。受注後の協議により工期延伸となる場合は設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	現状、工期の延伸は考えていません。
・設計で想定している作泥材を添加した区間の掘削残土の比重をご教示願いいます。	比重は2.0で積算しています。
・設計で想定している作泥材を添加した区間の掘削残土は、軟弱土、固化物、泥水のいずれの単価で計上されているかご教示願います。	軟弱土です。
・CJG排泥に関して代価表135号に、「軟弱土壌」とあります。設計で計上されているのは、泥水、軟弱土のいずれが計上されているかご教示願います。	軟弱土です。
・裏込注入工（代価表138号）のB液で、単価表第26号は1m3当り凝結剤が80m3となっています。80Lの誤りではないでしょうか？	80ℓです。
・図面58　分水人孔構造図にある組立1号の材料と、代価表第58号の内容が異なります。入札においては代価表の材料を考えてよろしいでしょうか。また、図面が正の場合は設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	協議の上対応します。
・明細書第19号、代価表第63号では、15m以下となっています。図面78を見る限り打込み長さは7mと思われます。設計で計上されている打設長をご教示願います。	協議の上対応します。
・図面№57　既設セグメント接続推進部詳細図B-B'断面図では、FRPM管の外径φ2458とあります。薄肉管と思われます。しかし、代価表第14号では、「外圧管　1種」となっています。設計では、どちらが採用されているかご教示願います。	図面のφ2458が正です。 また、管種については薄肉管で設計しています。

質 問 ・ 回 答 書

平成30年 2月 7日

工 事 名　　松下菊水放流幹線築造工事

・FRPM管工法（明細書第4号）、軌条設備工（代価表109号）、鋼材（単価表2号）では、等辺山形鋼9×75×75㎜となっていますが、鋼管の内径とFRPM管の外径の間に入りません。どのようにお考えでしょうかご教示願います。	等辺山形鋼の縮小等で挿入延長が短いので、施工時の工夫で施工可能と考えます。
・代価表第204号に、中込材充填用の管材料として、硬質ポリ塩化ビニル管　薄肉管（VU）50　60×1.8×4とあります。鋼管とFRPM管の間に設置することができません。どのようにお考えでしょうかご教示願います。	受口部での離隔は無いですが、注入用パイプを受口手前まで設置し圧力で注入する、注入用パイプを小さくする、両側から注入する、鋼管とFEPR管を変心する等の対応で施工可能と考えます。
・浚渫工　揚泥車運搬工で発生する泥水の比重をご教示願います。	比重は1.4で積算しています。
・浚渫工　揚泥車運搬工（代価表第97号）に、「片道4㎞」の表記があります。設計で計上されている距離が4㎞であり、設計変更と対象と考えてよいかご教示願います。	表記の「片道4Km」が誤記です。代価表に記載されている住所地で積算しています。
・二次覆工、代価表第152号（コンクリート打設配管設備工　据付・撤去）の鋼管損料（単価表29号）の中に、覆工延長に伴う配管の損料が計上されていません。設計ではどこの項目に計上されているかご教示願います。	協議の上対応します。
・発進坑口工、ゴムリング設置撤去工で使用するゴムリング（坑口用）は、見積単価、大阪府公開単価のどちらを採用されているのかご教示願います。	平成29年度版推進工事用機械器具等損料参考資料を参考にしています。
・代価表第162号　立坑内作業の仮設材賃料の中にH-150の賃料設定がありません。賃料日数と一日当たりの賃料をご教示願います。また、修理損耗費は計上されていませんが設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	設計数値についてはお答えできません。また、修理損耗費が必要とは考えていません。
・設計で計上されている推進用の鋼管（内径φ2594、外径φ2642）の材質、規格等をご教示願います。また、材料単価は、見積なのか物価資料を基にしているのかご教示願います。	物価版より,鋼管の価格と外径エキストラを計上しています。
・付帯工、工事ヤード内土砂搬出工（明細書第24号）では、積込、運搬、処分しか計上されていません。運搬する発生土はルーズな状態で現地に堆積されていて、掘削の必要はないものと考えてよろしいでしょうか。	ご考察のとおりです。

質 問 ・ 回 答 書

平成30年 2月 7日

工 事 名　　松下菊水放流幹線築造工事

・代価表第191号に計上されている仮囲いの材料費は、「基本料金＋賃料」の構成になっていません。新品購入単価と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	ご考察のとおりです。
・付帯工　仮囲い（既存）　代価表第95号に計上されている材料は、「既存の材料を買い取る」ということでよろしいでしょうか。また、決定された売渡単価をご教示願います。	ご考察のとおりです。 また、価格についてはお答えできません。
・本工事費内訳書3頁の「鋼橋門扉等工場原価」内訳書10号は、シールドマシン現地組立費、運搬費を除く購入費が計上されていると考えてよいかご教示願います。	諸経費も除いてください。
・代価表第116号　シールドマシン購入費は、現地組立工と運転指導員派遣費が計上されていると考えてよいかご教示願います。	諸経費も計上しています。
・現地組立工と運転指導員派遣費は、見積単価と思われますが、組立中に必要となるクレーン費用は、その中に含まれると考えてよいかご教示願います。	分割搬入による現地組立に要する費用はシールド機購入価格含ます。
・代価表第132号　機械器具損料1式に含まれる機械名称、および設計で計上されている運転日、供用日、電力料をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・明細書第34号　発生土処分工の「水槽（一般工事用）の設計で計上されている供用日をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・裏込材（明細書第35号）、機械器具損料（代価表139号）の機械器具損料の設計で計上されている運転日と供用日、電力料をご教示願います	設計数値についてはお答えできません。
・添加材（明細書第36号）、機械器具損料（代価表142号）の機械器具損料の設計で計上されている運転日と供用日、電力料をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・二次覆工機械器具損料（明細書第40号）の機械器具損料等（代価表第151号）の機械器具損料等に含まれる機械名称と運転日、供用日電力料、軽油数量をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・支圧壁（代価表第161号）　仮設鋼材賃料（代価表第282号）の設計で計上されているH-250の賃料日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。

質 問 ・ 回 答 書

平成30年 2月 7日

工 事 名　　松下菊水放流幹線築造工事

・立坑内作業（代価表第162号）の仮設材賃料の日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・シールド機発進用受台（代価表第163号）の仮設材賃料の賃料日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・シールド機仮発進（代価表第166号）の仮設材賃料の賃料日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・軌条設備工（明細書第52号）の鋼材損料の損料日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・鋼管損料（代価表第295号）の給水管の損料月数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・鋼管損料　坑内（代価表第334号）の排水管の供用月数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・鋼管損料　坑内整備用（代価表第335号）の排水管の供用月数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・鋼管損料　φ25mm（代価表第336号）の裏込用管損料の損料月数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・鋼管損料　φ50mm（代価表第337号）の裏込用管損料の損料月数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・機械器具損料（代価表179号）の遠心ファンの設計で計上されている運転日数と供用日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・立坑クレーン設備工（明細書第57号）の鋼材賃料　枕木の賃料日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・水替工（内訳書第24号）のシールド水替工、坑内中継水替工の運転日を各々ご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・機械器具損料（裏込注入）（代価表第197号）のグラウトポンプ、グラウトミキサ、ミキシングプラントの運転日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・推進反力受台設置撤去（代価表第11号）の鋼材賃料の賃料日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・機械器具損料（滑材注入）（代価表第324号）のグラウトポンプ、グラウトミキサ、ミキシングプラントの運転日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。

質 問 ・ 回 答 書

平成30年 2月 7日

工 事 名　　松下菊水放流幹線築造工事

・機械器具損料（代価表第19号）の機械器具損料1式に含まれる機械名称、運転日数、供用日数を各々ご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・仮設防音壁の設計で計上されている供用日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・仮設防音工基礎の設計で計上されている供用日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・締切排水工（明細書第25号）の設計で計上されている運転日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・内訳書第243号 ｼｰﾙﾄﾞ水替え工、坑内中継の運転日数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・内訳書第19号 坑内整備工の一次覆工工事から二次覆工工事の期間をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・代価表第92 据付間接費(技術者・機器)の間接費率を各々ご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・代価表第117号 ｾｸﾞﾒﾝﾄは大阪府公表単価と比較して金額が高い分が諸経費の対象外になるのかご教示願います。	安価なものを採用しています。
・代価表第89号 仮設費に計上している項目をご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・代価表第88号 機械経費に計上している機械器具の内訳とその日数をご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・代価表第87号 輸送費に関して、輸送距離をご教示願います。	13Kmを見込んでいます。
・代価表第86号 技術労務費に関して、技術者(据付・組合試験)の人数を各々ご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・代価表第85号 一般労務費に関して、電工、普通・特殊作業員の人数を各々ご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・代価表第83号 補助材料費 主材費にかける率をご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・代価表第82号 直接材料費に含まれる各付属材料(ｹｰﾌﾞﾙ・電線管等)の規格と数量を各々ご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・代価表第75号 仮設費に計上している項目をご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。

質 問 ・ 回 答 書

平成30年 2月 7日

工 事 名　　松下菊水放流幹線築造工事

・代価表第74号　機械経費に計上している機械器具の内訳と、その日数をご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・代価表第73号　輸送費に関して、輸送距離をご教示願います。	13Kmを見込んでいます。
・代価表第72　機械設備据付工の人数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・代価表第2号,3号　役務費の月数と電力量をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・代価表第1号　電力設備に関して、各設備の仕様・数量をご教示願います。	別途資料を添付します。
・明細書第27号　電気設備工(単独)の経費区分をご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・明細書第21号　電気設備工の経費区分をご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・歩掛と単価の適用年月を各々ご教示願います。また、物価資料の二誌平均か安値かご教示願います。	平成29年８月です。安価な方を採用しています。
・明細書第20号　機械設備工の経費区分をご教示願います。	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ場・処理場編に基づいて積算をしています。
・内訳書第8号　安全費について、警備員(補助分・単独分)の各人数をご教示願います。	設計数値についてはお答えできません。
・ｽｸﾗｯﾌﾟは諸経費の対象外かご教示願います。	対象です。
・電力料に再生可能エネルギー発電促進賦課金及び燃料調整費を含んでいるかご教示願います。	含んでいません。
・特記仕様書Ｐ10、３－５その他（２）で見積価格調書を提出しなければならないとの記載があります。①②③の各様式をご提示願います。	徴収された見積りのうち、応札金額に採用されたメーカーの写しを、内訳書の後に添付してください。 なお、表紙は「見積価格調書」とし、工事名、会社名を記載してください。
・可とうセグメントの割付位置について、発進立坑から地山区間に移行する箇所に設置する計画になっていません。その理由を教示願います。	発進立坑部の管位置は、耐震設計上の基盤面内に計画しているからです。
・可とうセグメントの割付位置について、№34+9.673の位置に設置することになっています。その理由をご教示願います。	耐震設計上の基盤面と表層との境界部に計画しています。

質 問 ・ 回 答 書

平成30年 2月 7日

工 事 名　　松下菊水放流幹線築造工事

・坑内整備工は、下水道用設計標準歩掛表平成29年度に『一次覆工工事から相当期間を経て二次覆工工事を施工する場合に「坑内整備工」を計上する』と記載されています。供用日を何日でお考えでしょうかご教示願います。	シールド掘進を守口調節池の手前まで進んでから凍結工行うため計上しています。
・発進立坑において、FFU壁切削の日進量は初期掘進の日進量と同様と考えてよろしいでしょうか。	初期掘進の日進量と同じとしています
・守口調節池は供用されているのでしょうか。供用していない場合、松下菊水放流幹線工事で守口調節池に接合する時点では供用されていないものと考えてよろしいでしょうか。	工事中であり、供用していない
・守口調節池との接合部において、本工事施工のために守口調節池に入る必要があります。地中接合位置に最も近い守口調節池の人孔の場所と大きさをご教示願います。	松生立坑　内径φ10m
・本町松下幹線において、通常の水位と大雨時の水位をご教示願います。	晴天時はMax0.171㎥／Sが流下量と考えています。計画流量における水深は2.73m
・本町松下幹線に入るにあたり、接合位置に最も近い本町松下幹線の人孔の場所と大きさをご教示願います。	第2ポンプ場

＊ 守口市 総務部 総務課 契約係
FAX：06－6993－3484
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：Mori_soumu@city-moriguchi-osaka.jp